

第3学年国語科 シラバス（学習案内）

教科の目標

○中学校国語科の目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。
- (2) 社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。
- (3) 言葉がもつ価値を認識するとともに、言語感覚を豊かにし、我が国の言語文化に関わり、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

○中学校3年生の国語科の目標

- ・ 社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。
- ・ 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
- ・ 言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。

本校ではこれらの目標を次の「評価の観点と方法」をもとに達成することを目指します。

評価の観点と方法

| 観点別評価の項目 | 評価の観点 | 評価の方法 |
|----------------------|--|---|
| 感心・意欲・態度 | 社会生活にかかわる様々な言語活動や読書を通して、考えを深めたり自己を向上させようとしていたりしている。 | ・ 授業や、課題への取り組みの様子 ・ 発表 ・ 提出物 など |
| 話すこと・聞くこと | 目的や場面に応じ、相手や場に応じて話したり、表現の工夫を評価して聞いたりし、考えを深めることができる。 | ・ スピーチ ・ 授業時の話し合い活動等への取り組み ・ テスト など |
| 書くこと | 目的や意図に応じ、論理の展開を工夫して書いたり、文章を書くことで考えを深めたりすることができる。 | ・ 作文 ・ ノート下段の感想 ・ 天声人語 など |
| 読むこと | 文章の展開や表現の仕方を評価しながら読み、読書を通して自己を向上させることができる。 | ・ テスト(小説・説明文・詩 等) ・ 読書カード など |
| 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 | 語句や漢字などの国語の特質に関する事項に、(古典の世界に)親しんだりすることができる。社会生活で使用されている多様な書体や字体の文字に関心を持ち、目的や必要に応じて文字を書くことができる。 | ・ 書写 ・ テスト(漢字・文法・古典 等) など |

第3学年国語科 学習計画

| 学期 | 月 | 学習内容（単元名） | 学習のねらい |
|-------------|----------|----------------------|----------------------------------|
| 一 学 期 | 4 | | |
| | 5 | | |
| | 6 | 春に(詩) | 作者の思いを捉え、表現の特徴を生かしながら朗読する。 |
| | | 握手(小説) | 登場人物の置かれた状況や言動に着目して、人物像を捉える。 |
| | | 学びて時にこれを習ふ(漢文・解説) | 人間の生き方についての孔子の考えを自分の生活と関連づけ考える |
| | 7 | 社会との関わりを伝えよう(話す聞く) | 自分の体験や知識を整理し話す内容を決める。 |
| | | 月の起源を探る(説明) | 説明の順序や図の使い方に着目して、内容を捉える。 |
| | | 魅力的な紙面を作ろう(書く) | 文章の形態や素材を選び、紙面構成を工夫して書く。 |
| | | 「想いのリレー」に加わろう(情報) | 説明の順序や図の使い方に着目して、内容を捉える。 |
| 二 学 期 | 8 | 俳句の可能性(俳句・解説) | 筆者のものの見方、表現のしかたを読み味わい、俳句の世界に親しむ。 |
| | | 俳句を味わう(俳句) | |
| | | 言葉を選ぼう(言葉) | |
| | 9 | 「批評」の言葉をためる(論説) | 筆者の考えを読み取り、自分の考えを深める。 |
| | | 高瀬舟(小説) | 移り変わる時代の中で変わらないことを感じ取る。 |
| | | 挨拶(詩) | 比喩や象徴的な表現に着目し、作者のものの見方考え方を捉える。 |
| | 10 | 故郷(小説) | 場面や登場人物の設定に着目して内容を深める。 |
| | | 新聞の社説を比較して読もう(論説) | 内容や表現を整理し、主張や論理の展開の仕方について評価する。 |
| | | 11 | 古今和歌集 仮名序(古文) |
| | 君待つと(古文) | | |
| | 12 | 夏草(古文) | 古典の文章を、表現の仕方や文体の特徴に着目して読み味わう。 |
| | | 古典を心の中に(古文) | |
| 三 学 期 | 1 | 作られた「物語」を超えて(論説) | 筆者の考えを表す語句や論理の展開に着目して、主張を捉える。 |
| | | 話し合っ提案をまとめよう(話す聞く) | 社会生活の中から課題を見つけ、説得力のある提案をする。 |
| | | 説得力のある文章を書こう(書く) | 関心のある事柄について観点を立てて分析し考えを深める。 |
| | | 初恋(詩) | 言葉の響きやリズムを味わいながら朗読する。 |
| | 2 | エルサルバドルの少女 ヘスース(小説) | 世界の人々の姿を知り、人間の生き方について考える。 |
| | | 誰かの代わりに(論説) | 筆者のものの見方や考え方を捉え、自分の生き方について考える。 |
| | | わたしを束ねないで(詩) | 詩の中の表現から作者の思いを捉え、自分の可能性について考える |
| | | 3年間の歩みを振り返ろう(話す聞く書く) | 自分の考えを深め、構成を工夫してまとめる。 |
| | 3 | 入試対策 等 | |

◎学習計画は、実態に応じて変更することもあります。